

千歳市の 職員の 人事のあらまし



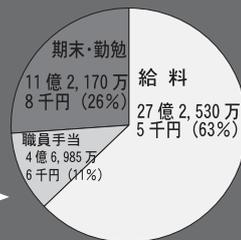
市の職員の給料や手当は、市民の皆さんの税金などでまかなわれています。最近では財政状況が一層厳しくなっていることから、市は指定管理者制度や業務の見直しなどにより人件費の抑制に努めています。

今月の焦点では、職員の任用や給与、勤務条件などの人事行政について紹介します。

【表1】人件費の状況

人口	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B÷A)	前年の 人件費率
9万1,808人	459億3,469万7千円	66億7,094万3千円	14.5%	14.6%

※平成19年度普通会計決算の数値です。
※人口は、平成19年4月1日現在の住民基本台帳上の数値です。
※特別職の給与を含んでいます。



【表2】給与の状況

年度	職員数 (A)	給与総額 (B)	1人あたりの給与 (B÷A)
20年度	671人	43億1,686万9千円	643万3千円

※平成20年度一般会計予算（当初予算）の数値です。
※病院などの企業会計予算分などは含みません。
※職員手当には退職手当は含みません。

【表3】初任給や平均給与などの状況

区分	学歴別	初任給	平均給料月額	平均年齢
20年度	大学卒	17万2,200円	35万800円	43.05歳
	高校卒	14万100円	37万5,700円	47.11歳
19年度	大学卒	17万200円	35万900円	42.11歳
	高校卒	13万8,400円	38万4,100円	48.09歳

給与の状況

● 人件費

人件費とは、市議会議員報酬、各種委員報酬、職員の給料や退職手当などをいいます。また、共済費（民間でいう社会保険料の事業主負担分）などの使用者負担分を含みます。

平成19年度の人件費にかかわる市の歳出決算（病院などの企業会計を除く）は表1のとおり66億7,094万3千円で決算額全体に占める割合は14.5%になっています。

人件費は、前年度より約6,500万円、5年前と比べると約3億1,900万円の減額となっています。

1人あたりの給与は表2のとおり643万3千円で、昨年度より7万2千円の増額となっています。

● 給料

職員の給料は、職務の複雑さや困難さ、責任の度合いにより、各種給料表に基づいて支給されています。職員採用時の初任給や平均給料は表3のとおりとなっています。